

○2024 年 4 月～6 月 説明を要する議案（重要な議案）についての賛否判断

1. 利益相反のおそれがある銘柄の議案

利益相反のおそれがある銘柄の議案については、原則議決権行使の基本方針に基づいて議決権行使を判断しておりますが、当基本方針にて判断することが困難である議案については、議決権行使助言会社からの当社の議決権行使の基本方針に基づく助言に従い行使することで、判断を歪めることなく一貫した対応を行っております。

2. 他の銘柄の議案

① 7203：トヨタ自動車（株主総会開催日：2024 年 6 月 18 日）

株主提案者は、同社の気候変動に係る渉外活動とパリ協定との整合性について情報開示を充実させたことは評価する一方、投資家の期待に対しては依然として不十分でありレピュテーションリスクが懸念されるため、一段の情報開示を求める議案を提案しました。

NZAM では、渉外活動をパリ協定に整合するよう透明性を高めるべきとの趣旨については必要な対応と捉えておりますが、同社の気候変動に関する渉外活動や情報開示については充実が図られていると評価しております。特に 2023 年度の気候変動政策に関する渉外活動の開示の中で、パリ協定に整合した渉外活動へのコミットメント表明を行っており、既に十分な対応がなされていると捉えられることから、株主提案に反対としました。

② 3205：ダイドーリミテッド（株主総会開催日：2024 年 6 月 27 日）

株主提案者は、同社業績が営業赤字となっていること等を指摘しており、業績改善が急務であるとして現経営陣の大幅刷新のため、6 名の取締役選任議案を提案しました。

NZAM では、会社側が取締役会を刷新する取締役選任議案を提案していること、業績改善に向けた中期経営計画を公表していること等を踏まえると、一定の対応はなされていると捉えており、会社提案候補者に賛成、株主提案候補者に反対としました。

以上